

平成25年度 事務事業評価表

事務事業名							
担当部署							
予算科目	項		目		大事業名		
					中事業名		
事務事業の内容							
目的(何のため)							
対象					数		
長期計画との関連	上位施策		名称				
	上位施策との結びつき	強い	弱い	理由・改善案			
	基本事務事業		名称				
選定区分		A 基本事務事業の代表事業	B 実施計画事業	C 予算案記者発表時重点事業	D その他の事業		
実施体制		A 区職員	B 一部業務委託	C 全部業務委託	D 指定管理		
【活動指標】 平成24年度の主な取組・実績 ()内は前年度実績							

成果指標(目的の達成状況を測定するモノサシ)		単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	目標	件数					
	実績	件数					
	達成率	%					

経費および特定財源		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
事業費	決算額	千円				
	当初予算額	千円				
従事職員数		人				
人件費		千円				
投入経費((決算額、25年度は予算額) +)		千円				
参考	特定財源(事業に充当した財源)		千円			
	国・都支出金		千円			
	利用者負担金		千円			
	その他の収入		千円			
	差引額(投入経費 - 特定財源)		千円			

24年度経費の主な対前年度増減理由							
-------------------	--	--	--	--	--	--	--

コスト指標 (投入経費/対象数)		円				
---------------------	--	---	--	--	--	--

評価項目・評価区分	評価理由
成果 AA 目標を大幅に上回る著しい成果があった A 目標を達成し十分な成果があった B 目標を達成していないが一定の成果があった C 目標を達成できず成果があまりなかった D 目標を大幅に下回り成果は限られる	
効率性 AA コストが非常に低く成果が極めて高い A コストが低く成果が高い B1 コスト・成果ともに高い B2 コスト・成果ともに低い C コストが高く成果が低い	
必要性 A 事業の必要性・区が実施する必要性がともに高い B1 事業の必要性は高いが区が実施する必要性は低い B2 事業の必要性は低いが区が実施する必要性は高い C 事業の必要性・区が実施する必要性がともに低い	
総合評価 AA 極めて良好に進んでいる A 良好に進んでいる B 概ね良好に進んでいる C あまり良好に進んでいない D 良好に進んでいない	

区民等からの意見・要望等

協働事業	A 該当 B 非該当
	(該当する場合)協働の相手方と区とが対等な協力関係であるとの認識を持ち、それぞれの役割分担を明確にし、互いの特性を理解・尊重したうえで、共通の目的に向かって事業を進めることができたか。 A できた B できなかった (できなかった理由)
環境配慮の取組項目	

前年度の改革・改善案

取組内容	取組結果
達成状況	
改革・改善の取組が反映した評価項目(達成・一部達成の場合)	
A 達成 B 一部達成 C 未達成	成果 効率性 必要性

今年度以降の改革・改善案

取組内容	改革・改善の取組の反映を見込む評価項目		
	成果	効率性	必要性
	委託化等の方向性		
	協働(拡大)の可能性		

事業の方向性	A 拡大	B 継続	C 縮小	D 廃止(年月)	E 休止(年月)	F 完了(年月)
---------------	------	------	------	----------	----------	----------